

ずいひつ

No.177

Aichi Gakuin University Dental and Pharmaceutical
Library and Information Center

2025年11月25日発行

秘密の抜け道～Y家にやってきた珍客 その3～

我が家家のトイレ近くには小さな生き物しか通れない秘密の抜け道があります。屋根と壁の隙間にあり、覗いてみても真っ暗でどこに通じているのか、人間の私にはわかりません。その抜け道は反対側の屋根に渡るのに都合が良いらしく、多くの動物たちが通ります。なかには通り抜けずにそこで寛ぎ始める猫もいます。私がトイレを済ませて扉を開けると、猫と鉢合わせてお互い驚いて固まってしまうなんてこともあります。この道を通るのは野良猫がほとんどだったので、居間で食事をしている時、突然外からガタガタと音がすると、「今日も猫が渡っているな～」と特に気にすることなく生活していました。



そんなある夜、トイレに向かうと私の頭上から「う～…」とうなり声が聞こえてきました。いつも聞く猫の唸り声とは少し違ったので、上を見てみると暗闇から光る目と両目の間に白い線を持った何かがこちらを見ていました。顔は猫より鼻先が長く、今まで見たことのない生き物でした。刺激をしないよう静かにトイレに向かうと、それはこちらを攻撃してくることもなく、ただうなり続けているだけでした。

その時出会った生き物のことが気になり、調べてみるとハクビシンと特徴が似ていることがわかりました。父にこのことを話してみると、「こんな町中に出るわけない」と笑われてしまいました。しかし、どうしてそうなっているのかわかりませんが、猫だけではなく、ネズミや昆虫、果てはイタチまで現れる我が家です。近所では狸やコウモリを見かけたこともあります。いてもおかしくない！そして、見間違いなんかじゃない！と確信していました。しかし、それ以降ハクビシンはなかなか現れず、やっぱり見間違いだったのかと確信が揺らぎ始めたころ、外から物音が。猫のそれにしては音が大きくもしかしてと思い、外を覗き込むと、そこには私があの時見たであろうハクビシンがいました！急いで父を呼び、私が見たのはあの子だよ！と指し示しました。しかし、その時は夜でハクビシンのいる場所は部屋の明かりが届かず、影になっていました。そのせいで目の悪い父にはよく見えないようです。だったら写真を撮ってみればわかる！立派な一眼レフカメラがあるでしょ！？と撮影を頼みました。撮影した写真を見た父は、本当にハクビシンがいたことに驚き、唖然としていました。やっぱりいた！私の見間違いなんかじゃなかった！と心の中でガツツポーズをしていましたが、ハクビシンのことを調べているときに見た「ハクビシンは害獣。糞害で家をダメにする」という言葉を思い出しました。我が家はとても古い家のため、これ以上老朽化が加速すると家に住めなくなってしまうのではないかと不安になりました。しかし幸いなことに今に至るまで、ハクビシンが再び姿を見せたことはありません。糞尿の臭いがすることもなく、我が家は難を逃れたようです。



一体あの子はどこから来て、どこへ行ったのか。突然の出会いに驚きながらも町中にもいろんな生き物が生活しているのだなと驚かされます。我が家にある秘密の抜け道。本当は屋根の上につながっているのではなく、見知らぬ森につながっているのではないか。そんな妄想をしてしまうような不思議な体験でした。

(ハクビシンいるもん！！と某アニメキャラのように訴える司書)